

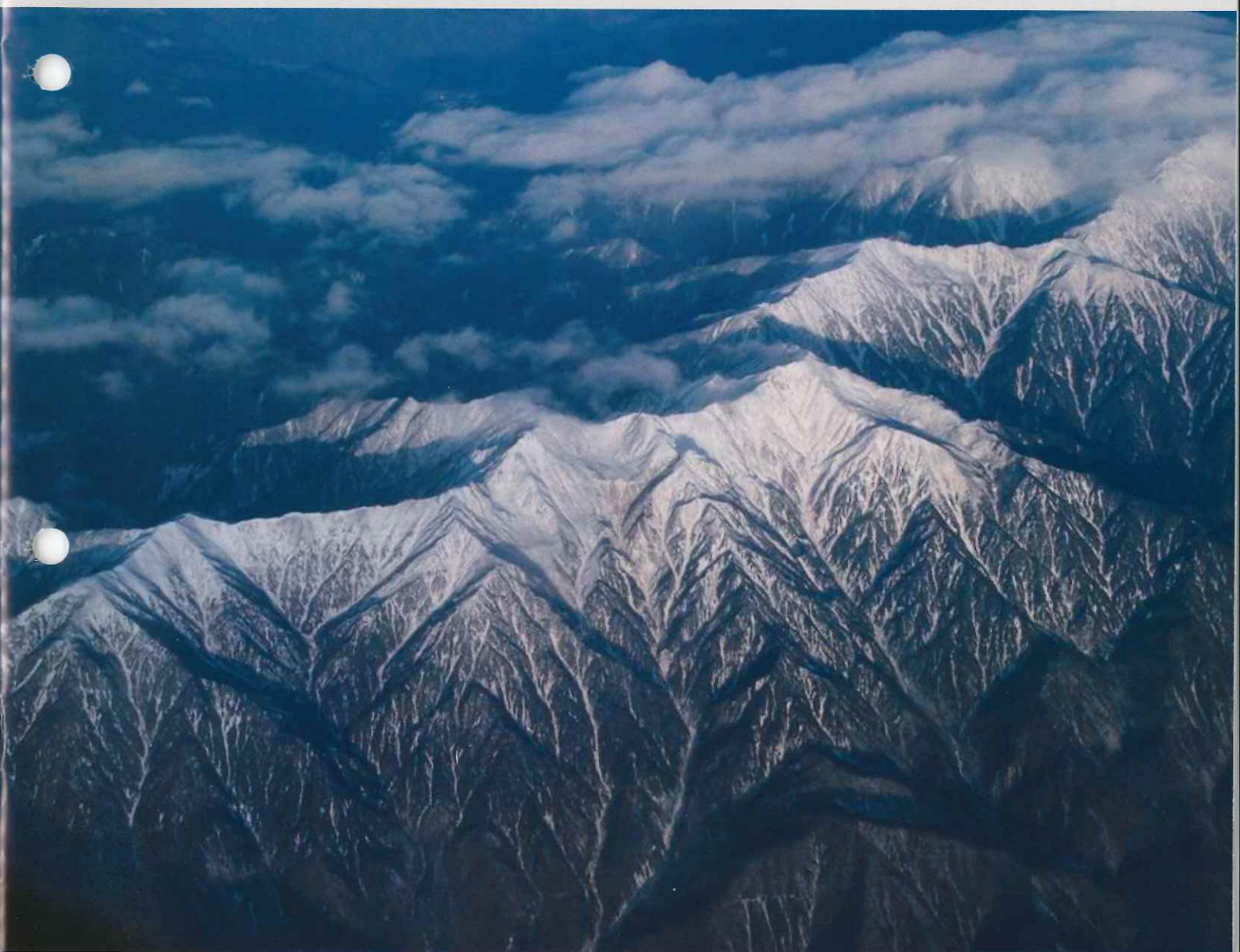
SHUNKO

春光懇話会会報

Wave21

2015.2

No. 151



<http://www.shunko.jp>

トップインタビュー



春光会20社の社長にご登場いただき、ご自身のプロフィールを語っていただきます。生い立ち、お若い頃の思い出、会社生活のことなど、いろいろとお伺い致します。今回は日立製作所の東原社長にインタビューさせていただきました。よろしくお願い致します。

日立製作所社長 東原 敏昭

生年月日 1955(昭和30)年2月16日生
 出身地 徳島県
 出身校 1977年 徳島大学工学部卒業
 1990年 ポストン大学大学院
 コンピュータサイエンス学科修了
 略 歴 1977年 日立製作所入社(大みか工場配属)
 1999年 大みか電機本部 交通システム設計部長
 2007年 日立製作所執行役常務
 2008年 日立パワーヨーロッパ社プレジデント
 2010年 日立プラントテクノロジー執行役社長
 2013年 日立製作所執行役専務
 2014年 日立製作所執行役社長兼COO
 趣味 読書、ゴルフ、ミュージカル鑑賞

——徳島県のご出身と伺いました。少年時代の思い出を教えてください。

徳島県小松島市という徳島市の南側に位置する小さな町で生まれ育ち、大学を卒業するまで徳島から出たことはありませんでした。小学校はクラス40人弱で、4年生から6年生までの3年間は少年野球のキャッチャーとして、放課後は毎日ボールを追いかけしていました。小さい頃から神社でソフトボールをして遊んでいたこともあり、野球にはスムーズに入っていました。野球は結構一生懸命やっていて、何勝かしましたが、県大会では負けてしまいました。小学生のキャッチャーは、体も大きくないので、セカンドまでノーバウンドで投げられない人もいます。私もそうでしたけれども、ワンバウンドで良い球を投げるなど、いろいろ工夫しました。

——中学、高校でも野球を続けたのでしょうか。

小松島市内には野球チームが10チームぐらいありましたが、うちのチームはなかなか勝てませんでした。中学校に入れば力のあるキャッチャーもたくさんいます。どうせやるなら、自分がある程度活躍できるようなスポーツをやりたいと思っていました。当時、柔道は中学校から始める人が多かったため、自分もゼロからスタートすればいいかなと。想像できないでしょうが、当時は今みたいに太ってなくて、背も高くありませんでした。柔道の団体戦は、先鋒、次鋒、中堅、副将、大将から成っており、大将は体格の良い大きな人が担当しますが、私はスリムだったのでずっと先鋒でした。この中学校は、徳島県の大会で準優勝するなど、結構強かったと思います。高校2年生の時に、

県の個人戦において軽量級で準優勝するなど、県内では結構なところまで行きましたので、OBの方から「柔道をやれ」「国体選手の強化に出る」という声も頂きましたが、将来は技術系に進みたいという気持ちがあったため、お断りしました。——学生時代のご友人との思い出を教えてください。

車が好きで、中古の車を買って友人と四国を旅行したり、小樽までフェリーを使い、北海道を旅行したりしました。北海道では小樽から函館に行き、函館から苫小牧を回り、さらに十勝へ行って塩狩峠からずっと下におりていきました。十勝にも徳島県と同じ池田町という町があり、十勝の池田町にはうちの遠縁に当たる親戚がいたため、そこを訪ねて泊めてもらい、十勝ワインとジャガイモ、馬肉を食べてワイワイやりました。

——大学を卒業するにあたって進路はどのように決めましたか。

私が大学を卒業した1977年は、第2次オイルショックの翌年であったため、それほど就職先がなく、日立か大手2社、3社の中から1社選べ、と言われました。その中でたまたま最初に受験をしたのが日立製作所だったので。入社直後は、これからどんな仕事をするのか分かりませんでした。大みか工場で制御をやっているという話を聞いて配属の希望を出したところ、たまたまそこに配属が決まりました。この工場は、1969年に日立工場と国分工場の制御部門が一緒になってできた工場です。1977年に入社した私にとっては、独自の文化を作っていくという活力を感じる工場でした。

聞き手…春光懇話会 浅井事務局長

——若い頃の失敗談、あるいは成功談はありますか。

私は、いろいろなプロジェクトを1年置きぐらいに経験させて頂きました。例えば、ある電力会社の発電量を決めたり、停電していれば停電の箇所を特定して、そこを復旧して電気を流すなど、電力の系統制御システムや鉄道の運行管理システムの構築などです。一番長く携わったのは、甲府から東京駅まで1個ずつ各駅に自動制御のコンピュータを入れていく中央本線の東京圏のプロジェクトです。最初は1996年に相模湖駅に導入して、まずは相模湖駅だけが自動制御、つまり人がいなくても電車を走らせることができるようになりました。次に高尾駅に入れて、...という風に順次導入し、中央本線が完全に自動化されます。中央本線の次に京浜東北線、山手線、常磐線と続いて、合計330駅以上にコンピュータが入って、JR東京圏のATOSというシステムが完成しました。このプロジェクトは20年以上かかるプロジェクトでしたので、私がいなくなっても中長期的にシステムを提供しなければなりません。継続していくプロジェクトですので、社内教育だけでなく組織作り、ルール作りが必要と考え、何度も試行錯誤や失敗を繰り返して苦労しながら体制を作り上げました。

——ところで、ノーベル賞を受賞した中村修二さんとは大学の同期と伺いました。

中村さんとは生まれた年は違うのですが、私が早生まれだから同じ学年ということになります。彼は電子工学で、私は電気工学ですから、教養の2年間は多分同じだったと思いますが、彼も私もあまり授業には出なかった方だから、接点はほとんどなかったです。彼が日本へ帰ってきた時にお話をしたりするようになったのはこの何年間です。ノーベル賞を受賞されるという報を聞き、改めてすごい人だと思っています。

——あの出来事がきっかけとなって今の自分がある、と思うエピソードを教えてください。

入社して配属された工場が教育にものすごく力を入れていて、当時の工場長が従業員を全員集めた時の朝礼でこんなことをおっしゃいました。「たったひとりしかいない自分を、たった一度しかない一生を、本当に活かさなかったら人間生まれしてきた甲斐がないじゃないか」という山本有三の「路傍の石」の一節を引用し、「人生の大半の時間



▲北海道をドライブ中に立ち寄った「羽衣の滝」(右端が東原社長)が会社生活になる。その会社での時間を自分の成長に活かせなかったら、人生それで終わってしまう。」とお話しされました。その言葉を聞き、入社した頃から私は、「どうせ働いたら自分を成長させるような仕事をしたい」と思ってきました。それが私の原点です。

上司を含め先輩たちには厳しく鍛えられましたが、危ない時には必ずアドバイスを頂き、失敗したら上司の責任、成功したら東原の手柄という上司もたくさんおられました。これはやはり見習うべきところですし、自分の育った環境は非常に恵まれていたと思います。

——最後に春光各社の若手に向けてメッセージをお願いします。

3年後、5年後に自分がどうなっていたいのかを、クリアにする、できれば文章に書いてみるのが大事だと思います。たとえばTOEICで800点取りたいとか、資格を取りたい、月に3冊の読書をするなど、何でもいいのです。1年後に振り返った時に8割しか到達していなかったとしても、最初から80%成長しているわけですから、それを毎年繰り返すと随分変わるはずですよ。今の自分がどのステータスにいるかを常に反省しながら、目標に向かって頑張ってください。

GO綱領

われわれは よりよい社会人であることをめざすとともに社会進歩の担い手である日立大みかの従業員として誇りと責任をもち 和協一致 その使命を果たすことに生きがいを感じ 前進するものである

1. より高い技術に挑戦しよう
2. 信頼に値する仕事をしよう
3. 相手の立場にたって考え行動しよう
4. 清新にして活力に満ちた職場を作ろう
5. 自戒と感謝の気持ちをもとう

▲私の心のよりどころ「大みか工場：GO綱領」

平成27年 春光懇話会賀詞交換会

1月6日(火)ホテルニューオータニ「芙蓉の間」において開催されました。
会員会社138社の役員など、約300名の方々が出席されました。



ご挨拶 (要旨)

春光会会長 春光懇話会会長
日立製作所相談役
庄山 悦彦

庄山でございます。会員の皆様方には、各社社員およびご家族ともどもお健やかに新春を迎えられたこと、心よりお喜び申し上げます。

本日はご多用のところ、平成27年春光懇話会賀詞交換会に多数の方々にご参集賜り、誠にありがとうございます。

先般、実施されました衆議院議員選挙につきましては、ほぼ予想された結果となりました。景気も上向きではありますが、今解決せねばならないテーマは山積しており、早急に諸施策が進むことを期待しております。

昨年は自然災害が多発しましたが、災害に遭われた皆様方には心からのお慰めを申し上げます。御嶽山で発生した突然の災害では、会員会社の大切な従業員も犠牲になられ、ご家族を始め関係各位のご悲嘆は幾ばくか、この場をお借りしまして改めてご冥福をお祈りさせていただきます。

さて、昨年10月には恒例となりました工場見学会を実施致しました。今回は九州大分地区に参りまして、サッポロビール日田工場、JX日鉱日石エネルギー大分製油所、パンパシフィック・銅製錬所の3事業所を見学させていただきました。サッポロビールさんには、日頃から各地域懇話会のビアパーティーで大変お世話になっております。当日は、巨大なタンクでの発酵工程から瓶詰め、検査、出荷まで缶ビール・瓶ビールが製造されるまでの各工程についてご説明を受け、見学会最後には工場出荷直後の美味しいビー

ルを試飲させていただきました。

JX日鉱日石エネルギー大分製油所では、100万m²を越える広大な構内に設置されている原油タンクやガソリンタンク等を拝見致しました。当製油所は、「石油精製」「石油化学」「電気事業」の3つの事業を柱に九州エリアの多様なエネルギー需要を大きく支えている極めて重要な拠点であることをお聞きしました。

パンパシフィック・銅製錬所では銅精鉱の原料受入れから銅板の完成工程までを順次拝見させていただきました。200mを越える巨大煙突が青空に聳え立つ光景には参加者一同感激致しました。製錬所近くにある「はやすひめ」神社には、久原房之助翁が当時神社に寄進した碑(いしぶみ)が建立されておりました。宮司より翁と神社の関係をお聞きし、春光グループの新たな歴史を垣間見る思いでした。この見学会も春光グループ各社のご協力の下、歴史を重ねること35回



地域春光懇話会会長紹介

目となりました。あらためまして関係各社ならびにご協力いただきました社員の皆様に御礼を申し上げる次第です。

さて、春光会・春光懇話会の異動ですがUDトラックス 村上吉弘社長が新たに入会されましたので報告致します。春光グループ発展のためにぜひご尽力をお願い申し上げます。

春光懇話会は、偉大な先人の志を継承する仲間同士が集い各社の親睦、情報交換そしてビジネス交流を深化させる場を提供することで会員各社に貢献したいと考えております。

一方、春光懇話会の現状ですが、各社の事業環境のグローバル化の進展等により、グループ会社の再編、統合等もあり、会員会社数は130余社と若干減少しております。事業内容も変化しており、各種新事業が拡大してきていることから、新たな会員会社を追加し、さらに活性化を図って参ります。皆様方のご支援を宜しく申し上げます。

会員の皆様方には、活動の中心である事業協議会・各社談話への積極的な出席を一層進めさせていただきたいと思っております。

さらには、各社総務部課長の事務局会、担当・主任クラスの会報編集委員会活動への積極的参加を幹部からも当該部門への働きかけをお願いしたいと思います。将来の春光懇話会の隆盛は、言うまでもなく、そうした若い世代が懇話会活動を通じて、本会の理解を深め、担ってゆくことに大きく左右されるからです。ぜひともこうした想いを共有していただきたいと思います。

さて、本日の賀詞交歓会には、秋田、茨城、群馬、埼玉、神奈川、富山および大阪の7地域の春光懇話会会長にもご出席をいただいております。遠路にもかかわらずたいへんご苦労様です。また

昨年、長野春光懇話会と松本春光懇話会が統合し、新たに信州春光懇話会として発足しました。国内52か所に広がる地域春光懇話会の運営につきましては地域会長の方々のご指導により特徴ある活動をいただいております。海外に目を転じますと韓国春光懇話会、ミャンマー春光懇話会が発足し、26か所目の拠点が設立された海外春光懇話会も国内以上に活発に交流をされております。ぜひとも、地域ならではの創意を凝らした取り組みによりさらなる活性化をお願い致します。

さて、春光懇話会ファミリークラブ、結婚相談所ですが、現在の会員数は男性150名、女性170名の合計320名、これまでに245組が成約なされています。当クラブの入会者は、会員会社に関わる方に限定であり、何よりも「安心」と「親身」が特徴です。皆様からも社員やご家族・ご親類の皆様にご推奨いただきたいと思います。

最後になりましたが本日で参集の皆様方のご健勝と会員各社のご繁栄をお祈り致しまして、新年のご挨拶にかえさせていただきます。



乾杯
春光会副会長
日産自動車
小枝相談役名誉会長



中締め
春光会会員
春光懇話会副会長
日立キャピタル
花房名誉顧問



賀詞交換

春光懇話会の歴史コラム

No.1

萩博物館学芸専門監 樋口 尚樹

1954年山口県萩市に生まれる。山口大学文理学部文学専攻科修了。専門は日本近世史。現在、萩博物館学芸専門監。主著「日本の近代を拓いた萩の産業人脈」その他、萩博物館調査研究報告に論文を多数発表。

萩博物館の樋口尚樹氏に執筆いただく歴史コラムの連載が新たにスタートいたします。樋口氏には、昨年5月に開催されました地域春光懇話会代表者連絡懇談会においても「日本の近代を拓いた萩の産業人脈」と題して講演をいただきました。

山口県萩市は春光グループのルーツ、久原房之助の出身地です。春光にまつわる歴史にも造詣の深い樋口氏による新たな切り口のコラムをお楽しみいただければと思います。

久原家・先祖代々の故地・須佐

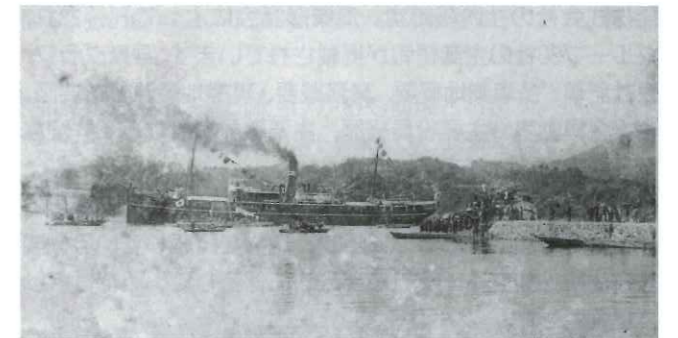
須佐は、久原房之助の父庄三郎の代まで、久原家の先祖代々が居住していた地だ。山口県萩市の北東部に位置する須佐（旧須佐町）は日本海に面し、2005(平成17)年周辺の6町村とともに萩市と合併した。江戸時代、須佐は萩藩主毛利家の永代家老益田家の領地であった。初代須佐領主益田元祥は関ヶ原の戦い後、徳川家康からスカウトされたほどの切れ者であったが、関ヶ原の戦いで敗れ中国地方8か国から周防・長門の2か国に領地を削減された毛利家の財政再建に尽力した。

益田家は、いわば小大名とも言えるほどの1万2000石余りの領地を有し、須佐に居館を構え家臣たちを住まわせていた。須佐は、益田家の城下町でもあったのだ。今でも益田家の居館が現存し、須佐の町では城下町のたたずまいを偲ぶことができる。久原家の屋敷は須佐市街の海側にあり、その辺りは現在も当時の街路や町割りが残っている。久原家は網元・回船問屋などを営むかわら、代々須佐の浦庄屋をつとめるとともに、益田家の御用商人として須佐の町の民政や経済を支えた。

しかし、幕末の1863(文久3)年益田家中の政争に巻き込まれ、房之助の祖父に当たる久原半平が何者かに暗殺される事件が起こった。房之助の父庄三郎は、藤田伝三郎（藤田組〔現、DOWAホールディングス〕の創業者）の兄に当たり、この時すでに久原家の養女子の養子となっていた。庄三郎は須佐に居られなくなり、翌1864(元治元)年一家をあげて萩城下へ移り住むことになった。

須佐には、房之助の祖父半平までの代々の久原家墓所と菩提寺浄蓮寺がある。1912(明治45)年5月15日、房之助は母文子、妻清子、実兄の斎藤幾太・田村市郎を伴って須佐に帰郷したが、祖父半平の五十回忌の法要が目的であった。須佐へは大阪商船の汽船をチャーターして入港し、20日間ほど須佐に滞在した後、萩へ向かった。須佐では、大園遊会を2回開催している。

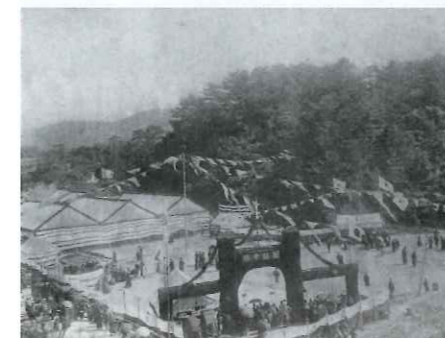
房之助が須佐に対して行った事業としては、父庄三郎の名義で須佐湾に波止場を築造し、1909(明治42)年に落成式が挙行された。波止場は「久原波止場」と称して現存しており、築造記念の石碑が建てられている。また、房之助は須佐在住の子弟教育のため奨学金制度を設けたり、所有の土地を旧須佐町へ寄付したりした。現在、房之助から寄付された広大な土地は、「久原園地」として整備されている。園内には、奨学金を受けた久原奨学生たちが中心となって、1989(平成元)年に建立された「久原房之助翁頌徳碑」がある。



▲チャーターした汽船にて須佐帰着



▲須佐滞在の久原房之助一行



▲須佐にて大園遊会



▲久原波止場(須佐)



▲久原園地

お知らせ

●春光会 ○入会



村上吉弘
UDトラックス社長
2008年 日産ディーゼル工業(当時)入社
2015年 UDトラックス代表取締役社長
好きな言葉 人事を尽くして天命を待つ
最近感動したこと 弊社の大型トラッククオンに乗車し、スムーズなシフトアップに改めて感動した。皆さまにもその違いを体感頂きたい。
兵庫県出身 51歳

○異動

坂上優介
(UDトラックス取締役会長←代表取締役社長)

●代表者交替

○春光会会社
UDトラックス 村上吉弘←坂上優介
○会員会社
日立ソリューションズ・クリエイト 西條 洋←大西博久

●合併による社名変更 (15.1.1)

日立ソリューションズ・クリエイト
←日立ソリューションズ・ビジネス

●住所変更

・日立ドキュメントソリューションズ (15.1.13)
〒135-0016 東京都江東区東陽6-3-2 イースト21タワー
☎03(3615)9000
・NTTデータCCS (14.10.27)
〒140-0002 東京都品川区東品川4-12-1
品川シーサイドサウスタワー
☎03(5782)9500
・JXオーシャン (15.3.2)
〒220-8148 神奈川県横浜市西区みなとみらい二丁目2番1号
横浜ランドマークタワー48階
☎045(307)3000

●地域春光懇話会会長交替

・京滋春光懇話会
椎根保朗 京都日産自動車代表取締役社長
・ニューヨーク春光懇話会
渡部真也 Hitachi America, Ltd. President & CEO



平成27年 春光懇話会賀詞交換会

<次第> 司会 浅井事務局長

- 挨拶 春光会・春光懇話会会長
日立製作所 庄山相談役
- 紹介
春光会新会員 UDトラックス 村上社長
地域春光懇話会会長
秋田春光懇話会 秋田日産自動車 三浦会長
茨城春光懇話会 センター電機 三代社長
群馬春光懇話会 GNホールディングス 天野社長
埼玉春光懇話会 UDトラックス 村上社長
神奈川春光懇話会 神奈川日産自動車 関口社長
富山県春光懇話会 富山日産自動車 白倉顧問
大阪春光懇話会 日立造船 古川会長

賀詞交換

- 乾杯 春光会副会長
日産自動車 小枝相談役名誉会長
- 中締め 春光会会員・春光懇話会副会長
日立キャピタル 花房名誉顧問

書籍紹介

「日産コンツェルン経営史研究」が刊行されました

当会報に、春光グループ歴史について連載されていた宇田川勝氏（法政大学経営学部教授）の著書「日産コンツェルン経営史研究」が刊行されました。

当春光グループの前身である日産コンツェルンの全貌を解明した宇田川教授のライフワークともいえるべき本です。

春光グループについての理解をより深めるため、ご活用いただければと思います。



A5判276頁、定価3,200円(税別)

発行元・問合せ 文眞堂 ☎03(3202)8480
<http://www.bunshin-do.co.jp>

書籍紹介 「満業」復刻版(全5巻)が刊行されました

1937(昭和12)年11月、鮎川義介率いる日産コンツェルンは、満洲国の首都新京に本社を移転し、満洲重工業開発株式会社(通称「満業」)と改称しました。そして翌12月には半官半民の国策会社となり、満洲産業開発五カ年計画の遂行機関となりました。

満洲の鉱工業の一貫生産を目指し膨張を続けた満業は、1941年には在満企業31社、在日系企業63社の合計94社を傘下に置き、経営規模は三井・三菱両財閥を大きく上回るほどになっていました。

第二次世界大戦以前の「満洲経営」の拠点となっていた南満洲鉄道株式会社(満鉄)は、敗戦時まで40年の歴史を持っていたこともあり、社史をはじめ関係者の伝記、追想録なども数多く残されていますが、経済拠点の役割を担っていた満業は成立後わずか8年で終戦を迎えたためか、資料がほとんどなく、研究が進んでいませんでした。

今回復刻版が刊行された『満業』は、1938年から事業停止する1945年までの8年間、毎月刊行された満洲重工業開発株式会社の社内報です。満業懇話会によって刊行され、グループ60社の企業情報が掲載されています。写真グラフ、会社記事、各事業地概要、業務概要、事業地資源分布要図、資本金異動表、主要役員経歴、主要職員名簿など、詳細なデータで構成されています。

これほど貴重な資料であるにもかかわらず、『満業』の存在はほとんど知られておらず、現物を所蔵している機関も数か所しかなく、それも部分的に保管しているだけという状況でした。

今回の復刻版は、宇田川勝氏(法政大学経営学部教授)の発案によるもので、全国を調査し、発行された全ての号を収集しました。この調査活動のなかで春光懇話会も資料提供に協力しました。

第1巻の冒頭には、宇田川氏が執筆した「解説」とともに「収録記事一覧」が掲載されています。これは、すべての記事を60社の企業ごとに検索できるように編集した索引になっており、大変便利なものといえます。

戦前の日産コンツェルン、満業コンツェルンの企業史を調査、研究する基本資料としてお勧めしたいと思います。
全5巻 74,000円
(税別・分売不可)



▲『満業』復刻版



▲満業の新旧総裁(鮎川義介と高崎達之助)

関係会社記事

経済顧問会議に
高崎総裁、鮎川相談役出席

本年は、満洲重工業開発株式会社が創立十一年に達するにあたり、その発展の経緯と今後の展望について、関係各社社長・役員等が一堂に集り、懇話会を開催した。高崎総裁は、満洲重工業の発展に、関係各社が協力することを要請し、今後の展望について、関係各社社長・役員等が一堂に集り、懇話会を開催した。

鮎川相談役は、本年は、満洲重工業の発展に、関係各社が協力することを要請し、今後の展望について、関係各社社長・役員等が一堂に集り、懇話会を開催した。

32号掲載の春光懇話会記事

十一月十八日理事會開催

十一月十八日理事會開催、理事會は、十一月十八日午後二時、満洲重工業開発株式会社の会議室で、理事會を開催した。理事會は、十一月十八日午後二時、満洲重工業開発株式会社の会議室で、理事會を開催した。

十一月十八日理事會開催、理事會は、十一月十八日午後二時、満洲重工業開発株式会社の会議室で、理事會を開催した。

33号掲載の写真

十一月十八日理事會開催、理事會は、十一月十八日午後二時、満洲重工業開発株式会社の会議室で、理事會を開催した。

十一月十八日理事會開催、理事會は、十一月十八日午後二時、満洲重工業開発株式会社の会議室で、理事會を開催した。

▲32号掲載の春光懇話会記事

▲33号掲載の写真

発行元・問合先 芙蓉書房出版 ☎03(3813)4466 <http://www.fuyoshobo.co.jp/>

暮らしの知恵自動車編

日産自動車 「日産リーフ」に続く電気自動車(EV)第2弾

ヒト × 電気 × モノ を運ぶ電気自動車「e-NV200」登場。

ゼロ・エミッションと低ランニングコスト。その両立を可能にした日産EV初のビジネスカーが登場しました。



- 全長×全幅×全高：4,560mm×1,755mm×1,855mm
 - 車両重量：1,570kg(最大積載量：500kg)
 - 航続距離：188km(JC08モード)
 - 最高速度：120km/h以上
 - バッテリー：24kWh(リチウムイオンバッテリー)
 - 充電時間：普通(200V)…約8時間 急速…約30分(0~80%)
- ※バンGX(5人乗)の場合

EVだからこんなにお得①

今ならエコカー減税や購入補助金が受けられます。

※バンGX(5人乗)の場合

エコカー減税	自動車税減税	購入補助金*
11.69万円	0.99万円	最大85万円

合計 **976,800円** 優遇(最大)

*平成26年度クリーンエネルギー自動車等導入促進対策費補助金
※上記金額はグレードによって異なります。また、購入補助金は購入価格に応じて変動します。

EVだからこんなにお得②

EVなら、燃料コストはガソリン車のわずか

1/5~1/6。

気になるガソリンの値上げからも解放されます。
(*EVとガソリン車の燃料コストを比較した場合の目安です。)

EVだから電気を使えます① (電気製品への給電)

走行用バッテリーから合計で最大1,500Wの電力を取り出すことができる「パワープラグ」(100Vコンセント)を2か所に採用。さまざまなビジネスシーンで電源として活用できます。



EVだから電気を使えます② (建物への給電)

専用のEVパワーステーションを設置することで、e-NV200をオフィスや店舗、ご家庭の電源としてお使いいただけます。(最大負荷6,000W)



普段は電気代の節約に貢献し、非常時はバックアップ電源になります。万が一の停電時でも、普段通りの生活が可能です。

問合先 お客さま相談室 ☎0120-315-232

情報アラカルト

- 会員会社や地域春光懇話会の話題紹介欄です。イベント・ニュース・スポーツ・トピックス・文化活動等々…。自由に情報をお寄せください。
- 掲載文は横書1行17字で最大30行を目安に写真を添え、必ずタイトル、社名（通信員経由の場合は通信員氏名）を明記のうえ事務局まで。
- 締切は3・6・9・12月の15日まで。原稿はEメールでお送り下さい。

日産緑化

樹木診断

春はサクラのお花見、夏はプラタナスの緑陰、秋はイチョウの黄葉、冬はケヤキの木漏れ陽、樹木は四季折々色とりどりの美しい風景を見せてくれます。

樹木は公園や街路、学校、工場、商業施設などで景観、憩いの場を提供してくれるほか、日差しへの遮り、ヒートアイランド現象の緩和、CO₂吸収、遮音、遮蔽、防風、火災延焼防止、生物多様性保全などさまざまな効果があります。

しかし、樹木も人間と同じように樹齢を重ねると樹勢が衰えたり、病気になることがあります。日本を代表する樹木のひとつであるソメイヨシノは特に弱く寿命は60から80年ほどとも言われています。（青森県弘前公園のソメイヨシノのように樹齢100年を越すも

のもあります。）

樹木が弱ると台風や大雪、地震の時に枝が折れたり、倒木することがあり、人が怪我をしたり、車を破損させたり災害時緊急車両の通行を妨害する危険性があります。

樹木も人間ドックと同じように、日頃から健康診断を行い適切な治療、剪定、伐採、撤去などをする必要があります。倒木する原因としては、材質腐朽病害による空洞化が多いのですが、専門資格者の樹木医が外観診断、レジストグラフ（樹幹に細いキリを挿入して抵抗値から健全状態を測定する機器）などで総合的な診断を行います。

民間施設においても枝の落下、倒木などの事故が起きると管理責任を問われることがありますので、リスクマネジメントとして樹木診断をお勧めします。

当社は現在7名の樹木医がおり各種の場面で対応させていただいております。



▲イチョウの黄葉（都内）



▲レジストグラフによる診断

問合先 開発営業部

☎03(3256)4031（宮原）

✉miyahara@nissanryokka.co.jp

営業部会だより

詳しくは営業部会HPをご覧ください→<http://www.shunko.jp/eigyoeigyobukaitop.html>

第15回春光懇話会キャンペーン終わる

「春光クイズ」に23,086人応募

第15回春光懇話会キャンペーンは営業部会全社参加として取り組み、2014年10月～12月の3か月間実施しました。

パンフレット52,000部、ポスター1,300枚を作成し配布しました。ホームページやFAXでの応募の中から抽選で600名に各社提供のプレゼントが当たる春光クイズには、23,086人も皆さまの応募がありました。ありがとうございました。

グループ会員会社への提案・訪問や、昼休みの時間帯を利用したミニ展示会・即売会を7会場で実施しました。また、キャンペーンの結果、営業部会として、東日本大震災の被災者救済や復興のための義援金として230,860円を寄付いたしました。



▲抽選会(14.12.9)

新製品・新商品 紹介

日産車体

これまでのタクシーのイメージを一新 6月下旬より全国一斉発売の「NV200タクシー」

「NV200タクシー」は、グローバルで高い評価を得ている多目的商用車「NV200（日本名：NV200バネット）」を基に開発した新世代タクシーで、セダンタイプが主流であったこれまでのタクシーのイメージを一新しました。

ベースモデルの「NV200」は、日本、欧州、中国、米国など世界40か国以上で発売しており、「NV200タクシー」と同様のモデルは、すでに米国・ニューヨーク市にて、次世代イエローキャブとして活躍しています。

ワゴンタイプならではの広々とした室内空間と荷室スペース、スムーズな乗り降りが可能な大きなドア開口部やパノラミックルーフの採用により、これまでになかった新たな乗車体験をお客さまに提供。さらに新設計のシートとサスペンションの最適化により、乗り心地の面でもこれまでのセダntaxi並みの快適性を実現しました。

6月下旬より全国一斉発売。街で見掛けたら、ぜひ乗ってみてください。

問合せ 広報室 ☎0463(21)8898



▲ワゴンタイプならではの広々としたリヤシート

“真上”の街並も楽しめるパノラミックルーフ
(メーカーオプション)



▲「NV200タクシー」

ガソリンとLPGの両方の燃料が使用でき、経済性と航続距離の向上を実現する「LPGバイフューエルシステム」搭載車もガソリン車とあわせて設定しました。



▲乗車時の段差を軽減する電動式スライドステップ



▲セダンとは一線を画す圧倒的な積載スペース

JX日鉱日石不動産

東急東横線最大級の街づくりプロジェクト、 「パークシティ武蔵小杉 ザ ガーデン」始動。^{※1}

当社では、川崎市中原区小杉町二目のJX日鉱日石エネルギー小杉社宅跡地にて三井不動産レジデンシャルと共同で分譲マンション「パークシティ武蔵小杉 ザ ガーデン」の開発を進めております。

2駅13路線が利用できる圧倒的な交通利便性を礎に、近年、飛躍的に進化した「武蔵小杉」で、東急東横線最大級の街づくりプロジェクトが始動します。

東急「武蔵小杉」駅徒歩5分、JR「武蔵小杉」駅徒歩4分。「武蔵小杉」の中でも、今後の開発に期待が高まる駅北口エリアです。

竹中工務店設計・施工の53階建、総戸数約1,200邸^{※2}の超高層免震ツインタワーは、「Town in the Garden」という発想のもと、ガーデンの中に街があり、すまいがあるというコンセプトで設計しています。

川崎市が運営する約1,000人収容可能なコンベンションホールをはじめ、保育施設、商業施設等の施設を充実させる予定です。

現在、本件についてのお問い合わせを受け付けておりません。希望される方へは資料をお送りしておりますので、ぜひご確認ください。



▲小杉町二丁目地区外観完成予想イラスト^{※3}

公式物件サイト <http://www.co-sugi.com/>

問合せ 「パークシティ武蔵小杉 ザ ガーデン」
インフォメーションデスク

☎0120-089-321

営業時間/10:00~17:00 火・水曜定休



※1 「東急東横線最大級」とは、1993年1月～2014年6月の期間に東急東横線に供給された民間新築分譲マンションにおいて、本プロジェクト（2棟）の計画総戸数約1,200戸が第2位であることを表現しています。（平成26年6月現在・（有）MRC調査・捕捉のデータより）なお、約1,200戸の内、約600戸は建築確認取得前につき、今後表示内容が変更となる場合があります。

※2 「小杉町二丁目地区地区計画」における〈A地区〉〈B地区〉の計画総戸数です。約1,200戸の内、約600戸は建築確認取得前につき、今後表示内容が変更となる場合があります。

※3 掲載の完成予想イラストは図面を基に描き起こしたもので、実際とは異なります。なお、外観形状の細部・設備機器等は表現しておりません。植栽は計画段階のもので、施工上の都合により、設定位置・樹種・樹高・本数等変更される場合があります。また、竣工から初期の生育期間を経た状態のものを描き起こしたもので、竣工時は植物の生育を見込んで必要な間隔をとって植えております。敷地周囲の電柱・標識・ガードレールなどは表現しておりません。

日立建機

ZX75US-5B、ZX75UR-5B小型油圧ショベル2機種を発売

当社は、排出ガス規制のオフロード法2014年基準に適合したZX75US-5B（運転質量7,200kg）とZX75UR-5B（運転質量8,490kg）を発売しました。

本機は、作業負荷に応じて、きめ細かなエンジン回転を制御する電子制御式の新型エンジンの採用や油圧システムの改良により、燃費効率を向上させ、低燃費ながら高い作業性能を実現。2機種ともに2020年燃費基準で☆☆☆（三ツ星レベル）*を達成しています。

環境性能の面では、排出ガスの後処理装置として、排出ガスから粒子状物質（PM）を除去するマフラフィルタを搭載しています。

住宅建築現場や、上・下水道、ガス、電気、通信などの管工事に代表される生活関連工事など、幅広い用途で活用できます。



※一般社団法人日本建設機械施工協会が定めた燃料消費効率を表す指標（JCMAS規格）において、2020年燃費基準として定められた評価値に対する達成率100%以上のレベル。

問合せ先 広報戦略室 広報グループ
☎03(3830)8065

損保ジャパン日本興亜リスクマネジメント

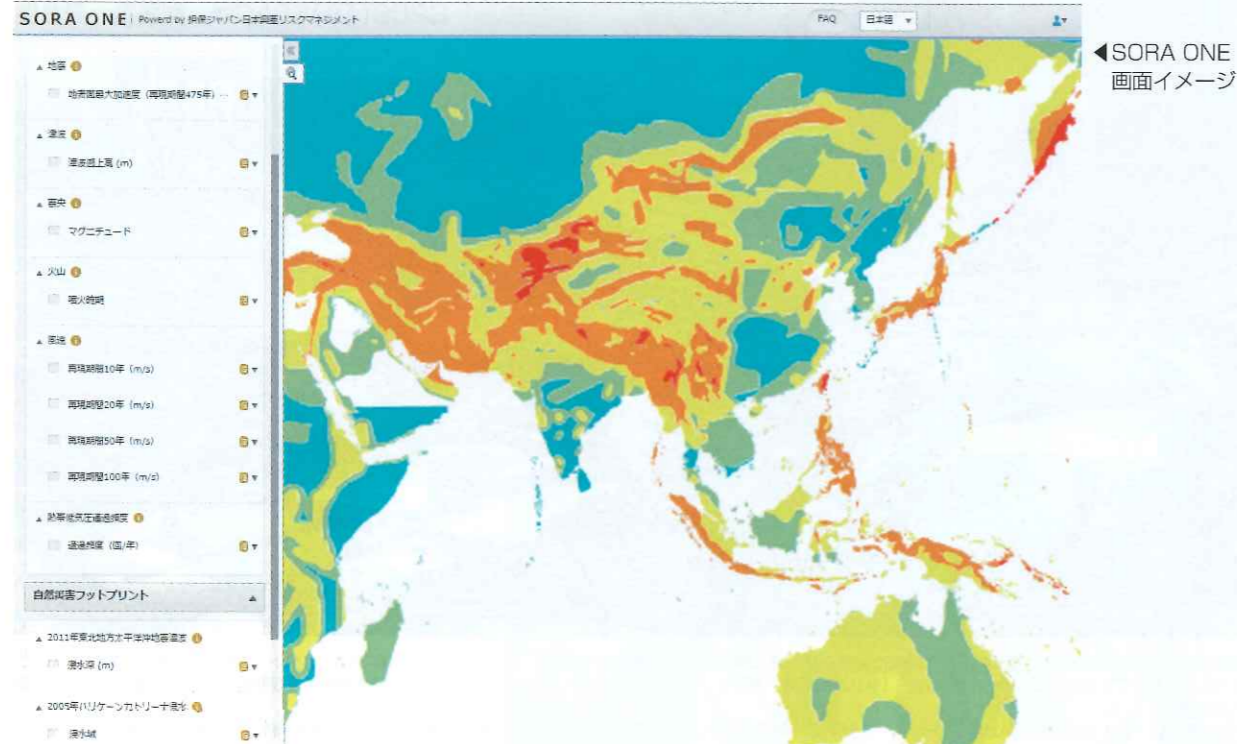
グローバルリスク情報サービス「SORA ONE」提供開始

当社では、全世界の自然災害リスク情報などをインターネット上で把握できるグローバルリスク情報サービス「SORA ONE」（読み：ソラワン）の提供を開始しました。

海外進出の増加とともに、大規模な自然災害への懸念が高まっています。サプライチェーンの寸断による生産への

影響は大きく、操業停止や減産となるケースも過去に多く発生しました。継続的な事業運営のためには、自社拠点のみならず、サプライヤーも含めた包括的なリスク管理の強化が重要となっています。

SORA ONEの利用により、世界中の様々な自然災害リスクの把握にかかる労力を削減できます。また、自社やサプライヤーの拠点のリスクを指数化して簡易的なリスク評価および拠点間のリスク比較が可能になっており（事前に拠点の登録が必要）、リスク管理の優先順位付けが簡単に実現できます。



http://www.sjnk-rm.co.jp/

問合せ先 リスクエンジニアリング事業本部 企画部 ☎03(3349)4320

日立アプライアンス

8畳のお部屋なら、わずか7分で清浄する加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-KVG900を発売

当社が10月に発売した加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-KVG900は、本体の背面側方の吸気面積を従来機種^{(*)1}の1.5倍に拡大するとともに、大風量を実現する新モーターと小型高効率ファンを搭載することで実現した集じん方式「ワイドスピード集じん」を採用しています。これにより、適用床面積^{(*)2}～41畳^{(*)3}、8畳なら7分で清浄する集じん能力を実現しました。

また今回新たに、お手入れがしやすく、デザイン性にも優れた強化処理ガラス製の「ガラスパネル」を本体前面に採用しました。本体前面には使いやすい「タッチ操作部」を搭載しています。さらに、床の設置面積はB5版ノートを開いた状態とほぼ同じサイズ^{(*)4}のスリムデザインとしており、置き場所にも困りません。



シャンパン(N) パールホワイト(W)

▲日立加湿空気清浄機「ステンレス・クリーン クリエア」EP-KVG900

- (*)1 当社2013年度商品EP-JV700との比較。
- (*)2 適用床面積とは、30分で清浄できるお部屋の広さ（天井高さ2.4mで算出）の目安。日本電機工業会規格「JEM1467」による。
- (*)3 空清運転時。
- (*)4 設置面積：奥行254mm×幅360mm。B5版ノートを開いた状態：奥行257mm×幅364mm。

問合せ先 お客様相談センター ☎0120-3121-11

元気な地域 地域春光懇話会紹介

地域春光懇話会は国内に52か所、海外に26か所。地域の特長を生かし、幅広い活動を行っています。各地域の若手の方にも登壇いただき、懇話会活動、地域自慢などご紹介します。

シンガポール春光懇話会

事務局 Tenet Sompo Insurance Pte Ltd 山本太一
設立年 1973(昭和48)年 会員会社数 33社

シンガポール春光懇話会では、年6回の定例会・年6回のゴルフ会・クリスマスパーティーを開催しています。定例会では、硬軟お任せながらテーマをチョイスし、外部講師によるセミナーを開催しています。ゴルフ会は、本年2月で380回を数え、親睦を深めながら腕を競い合う大会となっております。一年の締めくくりとなるクリスマスパーティーでは、ショータイム・豪華賞品を多数用意したラッキードロー（抽選）で大いに盛り上がります。

近年、マリーナベイサンズ・カジノ・ユニバーサルスタジオ・F1等々、次々と新しい観光スポットが生まれてきています。一方で多民族国家のシンガポールは、淡路島ほどの大きさの国土の中に中華系・マレー系・インド系民族が入り混じり、それぞれの文化や伝統を街のあちろちろで感じることが出来ます。今年、建国50周年を迎え、益々盛り上がりを見せているシンガポールにぜひ一度お越しください。



▲クリスマス会

Tenet Sompo 山本さんに執筆いただきました。

地域自慢!!

マリーナベイサンズ



会長から一言

シンガポール春光懇話会は海外にある地域春光懇話会としては最も古く1973年に設立されました。会員企業の皆様はシンガポールのみならず、経済発展の続くアジアの成長を取り込むべくアセアンを中心に活動の場を広げております。今後も会員相互の親睦を深め、歴史ある本会をさらに発展させていきたいと考えております。

Hitachi Chemical Asia-Pacific Pte Ltd Managing Director 藤田 茂



“そろそろ結婚を♥♥♥”とお考えの皆様
 “結婚適齢のご家族”をお持ちの皆様

“婚活”はじめませんか！

出会いはありますか？

「いずれは」も含めると、独身男女の95%以上の方が「良い相手がいれば、結婚したい」と答えています。しかし、年々、結婚平均年齢は高まっており、非婚比率も増え続けています。非婚でいる理由の第1位は「出会いがない」「相手にめぐり合えない」です。

今の世の中、じっと待っていても、良いパートナーに巡り合う機会は、なかなか無いものです。

春光懇話会ファミリークラブでは、年間約340組のお見合いが実施されています。その中で今年度は9組のご成約が決まりました。

お二人で成約のご報告に来られる時のこれ以上ない幸せな笑顔がとても印象的です。

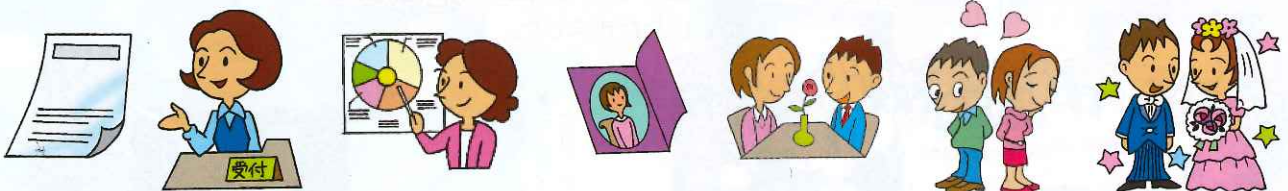
当クラブの特徴

- 1 「安心です」 会員を春光懇話会会員会社に関わる方に限っています。
- 2 「プライバシーは厳守されます」 会社にお知らせすることはありません。
- 3 「入会金は1万円です」 2年間有効。成約時お一人7万円、この他費用はかかりません。
 そろそろ結婚をとお考えの皆様、今すぐ行動してください。
- 4 「入会手続きは簡単」 電話03(3344)0410 (ヨイエン) または
<http://www.shunko.jp/family/family.html> にアクセスし
 資料請求・来所予約ください。

“見学のみ、説明を聞くだけ”も大歓迎です。
 グループの皆様にもっともっとあたり前のように
 活用していただきたいと願っています。



入会から成約までのステップ



春光懇話会ファミリークラブ

〒160-8330 新宿区西新宿2-2-1 京王プラザホテル南館10階1050

TEL&FAX 03(3344)0410

✉ family@mbr.sphere.ne.jp

受付時間 10:00~17:00

<http://www.shunko.jp/family/family.html>

定休日 火曜日・ウィークデーの祝日(土・日は常時オープン)



わが社と町並み UDトラックス 川口トレーニングセンター

日本の伝統・産業を支える街 川口市

埼玉県南東部、都心から10~20kmに位置する川口市は、荒川を隔てて東京都と隣接し、日本全国の指定特例市の中で最も多くの人口を抱える工業都市です。「鑄物の街」として知られ、その歴史は江戸時代にまでさかのぼります。1962年公開の映画「キューポラのある街」（注：キューポラとは鉄の溶解炉を意味）の舞台にもなり、現在でもその高い伝統技術が引き継がれています。東京オリンピックの聖火台も川口で製作されました。

水路輸送による便の良さや東京に隣接していることなどから、UDトラックス（当時：日本デイズル工業）は創業2年後の1937年、この地に工場を設立しました。翌38年には当社初の国産エンジン・ND1型（60馬力）の第1号基が完成、それ以来、62年に上尾工場で操業を開始するまでトラック製造のマザー工場として機能しました。

工場跡地には現在、川口トレーニングセンターがあります。2014年11月にはアフターサービスに携わる従業員の能力開発・育成の一環として、アジア・アフリカ地域を対象としたアフターマーケット技能コンテスト「UDトラックス現場チャレンジ」を開催しました。また創業者・安達堅造が1939年に実施した3,000km、13日間におよぶ野外テスト走行試験を再現したイベントも、当時と同じ川口を出発点として実施しました。

現在でも日本の産業を支える工業都市として機能する一方、江戸時代から続く武州川口七福神を



▲荒川をはさんで右手にあるのはUDトラックス川口工場跡（現在は凸版印刷川口工場）



▲1953年のUDトラックス川口工場周辺の様子

祭る寺や、鑄物伝統技術を次世代に引き継ぐ場としての魅力を持ち続ける川口。伝統と日本を支える技術を感じていただくために、ぜひ川口を訪れてみてください。



▲現在の川口トレーニングセンターと60年代のトラック6TW



▲「現場チャレンジ」の様子



▲鑄物技術で製作された「現場チャレンジ」のトロフィー

UDトラックス 川口トレーニングセンター 埼玉県川口市弥平3-13-16 ☎048(224)3683